

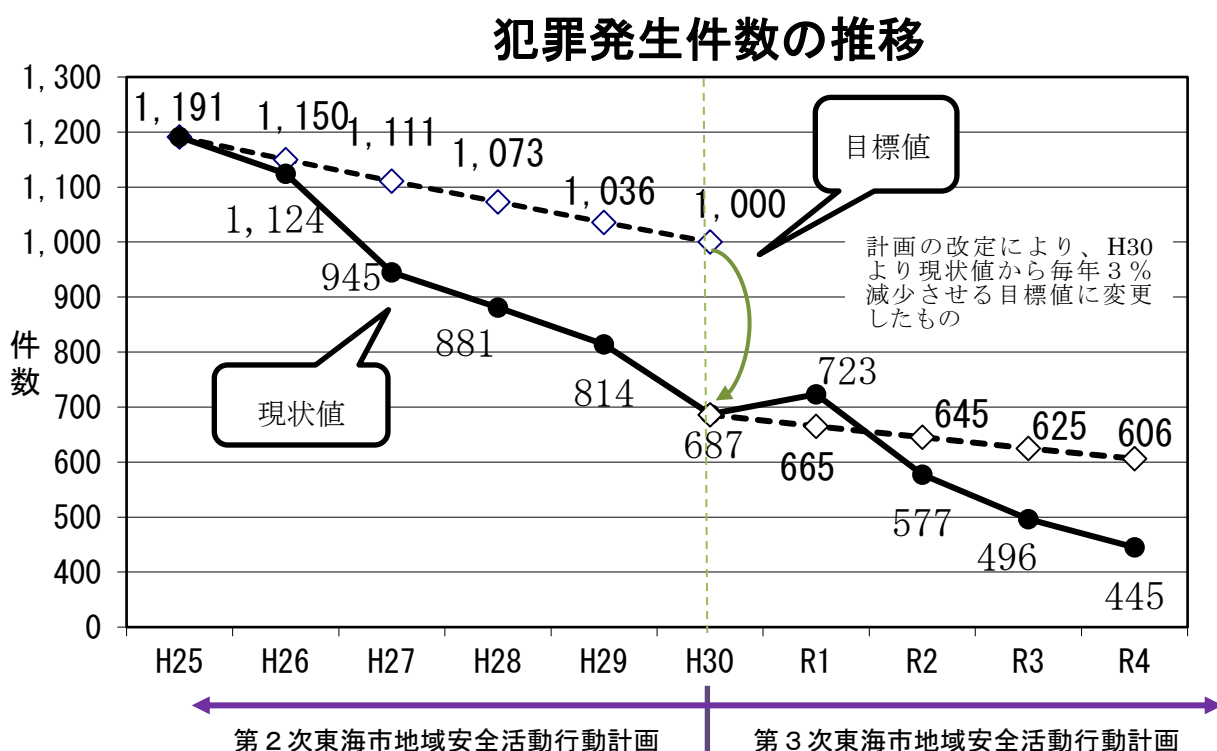
東海市地域安全活動行動計画の成果指標の推移について

1 犯罪発生件数（刑法犯認知件数）

第2次東海市地域安全活動行動計画では、平成25年（2013年）を基準年として、犯罪発生件数を毎年3%以上減少させ、平成30年（2018年）までに1,000件を下回ることを目標としてきましたが、平成27年（2015年）に最終目標である1,000件を下回ったことから、平成28年度（2016年度）から目標値の前年対比3%減少という新たな目標を定めてきました。

平成31年（2019年）3月に策定した第3次東海市地域安全活動行動計画（以下「計画」という。）においては、平成30年（2018年）の現状値を基準値とし、犯罪発生件数を前年対比3%減少させる目標を定めています。

令和4年中（2022年中）に市内で発生した犯罪発生件数は445件で、前年と比べ51件の減少となり、計画の目標値606件を達成しました。内訳としては、重点罪種以外の刑法犯が61件減少したものの、重点罪種は11件増加しています。



また、令和5年（2023年）1月から5月までの犯罪発生件数は206件（暫定値）で、前年同期と比べ29件（16.4%）増加しております。

しかしながら、重点罪種のうち、その他侵入盗については前年に比べ2件（20.0%）増加しているため、今後も東海警察署と連携を図りながら啓発活動等を推進します。

2 東海市総合計画における防犯関連施策の成果指標

市が毎年実施しているまちづくりアンケートの結果では、第6次東海市総合計画（平成26年度（2014年度）～令和5年度（2023年度））における成果指標「交通事故や犯罪の不安がなく、安全に安心して生活できていると思う人の割合」は、令和4年度（2022年度）では33.5%に達し、令和5年度（2023年度）のめざそう値である30%を現時点で上回っています。

代表的な防犯関連施策としては、令和2年度（2020年度）に市内全ての防犯灯をLED防犯灯へ一斉更新するとともに、令和元年度（2019年度）から令和2年度（2020年度）にかけて市内12コミュニティに街頭防犯カメラを設置しました。また、防犯モデル地区では東海警察署と協力してまちの防犯診断を行い、地域の防犯意識向上に努めています。

他にも、青色防犯パトロール団体に対する活動交付金の支給や、コミュニティと協力した防犯パトロールの実施など、防犯活動の活性化に向けた支援を行っています。

（単位：%）

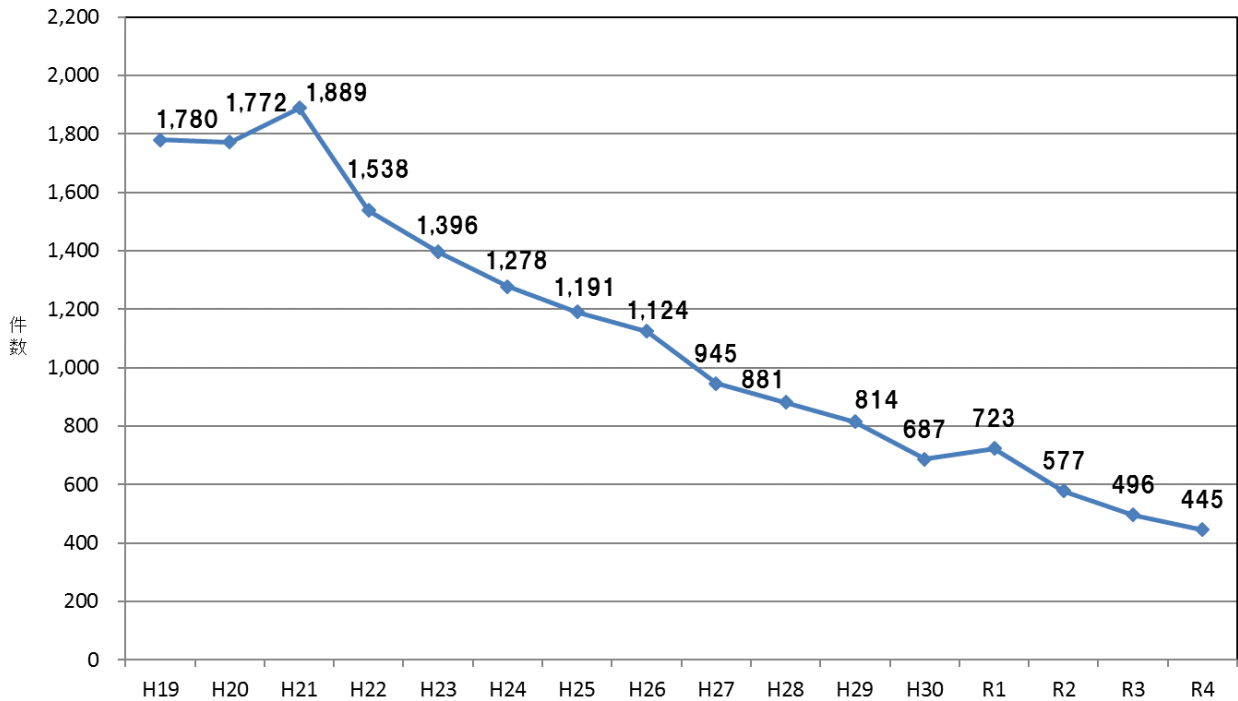
まちづくり指標	指標の方向性	現状値					めざそう値	
		H30	R1	R2	R3	R4	H30	H35
交通事故や犯罪の不安がなく、安全に安心して生活できると思う人の割合	↗	30.3	31.5	30.5	33.7	33.5	27	30

< 参考 >

東海市内の犯罪発生概況

(1) 刑法犯罪の推移（平成19年（2007年）～令和4年（2022年））

（出典：地域安全情報）



(2) 主要重点罪種の推移（平成19年（2007年）～令和4年（2022年））

（出典：地域安全情報）

